

令和6年度第1回ピースツーリズム推進懇談会

HIROSHIMA
PEACE TOURISM

令和6年（2024年）9月9日

目 次

1 令和 6 年度上期の取組	 3
2 令和 6 年度下期の取組（予定）	12
3 その他平和に関わる本市の事業についての情報共有	17
4 意見交換	18

(1) 情報発信の強化

- ① WEBサイト等による、モデルルート、スポット等の情報発信（P4）
- ② SNS参加型キャンペーン「あなたのピースなフォトコンテスト」の実施（P5）
- ③ 国内ジャーナリスト研修「ヒロシマ講座」における情報発信（P6）
- ④ 海外の大学生への情報発信（P7）**新**

(2) 市民・民間との協働体制の構築

- ① 「ピースおこ」プロジェクトとの連携（P8）
 - ・ 平和へのメッセージを配信する取組
- ② 広島市内の大学（比治山大学）との連携（P9）**新**

(3) 被爆80周年記念事業

- ① 情報発信の強化（リーフレットの更新（日本語版））（P10）
- ② 「広島・長崎連携観光キャンペーン事業」との連携（P11）**新**

(1) 情報発信の強化

① WEBサイト等による、モデルルート、スポット等の情報発信 WEBサイトのアクセス数とInstagramのフォロワー数

令和6年4月～令和6年8月

■ WEBサイトの月間アクセス数

○アクセス数:平均14,407件 (令和5年同時期平均13,604件)

R6年4月	R6年5月	R6年6月	R6年7月	R6年8月	R6年4月～8月 平均
11,633件	13,516件	13,496件	14,986件	18,718件	14,407件

■ Instagramのフォロワー数

○フォロワー数:11,210人(令和6年8月末現在) 令和5年8月末の6,682人から**約1.7倍増**

② SNS参加型キャンペーン「あなたのピースなフォトコンテスト」の実施

令和6年7月～11月

令和2年度から、できるだけ多くの人に「ピースツーリズム」を知ってもらうきっかけとしてSNSを活用したユーザー投稿型のフォトコンテストを実施している。これまで、開催ごとに、約4,000件の応募があった。これによりWEBサイトへのアクセス数が増加するなど一定の認知度向上を図ることができたため、引き続き、多くの人に「平和」を考えるきっかけを提供するため実施。

- 応募期間： 令和6年7月5日から10月5日までの予定
- 応募テーマ：「#ピーススポット2024」広島広域都市圏内の「平和」に関わるスポットの写真
「#ピースデイズ2024」普段の生活の中で心の「平和」を感じる写真
- 結果発表： 令和6年11月予定



(上：フォトコンテストのサイト)

(左：フォトコンテストのイメージ画像)

令和6年 8月

③ 国内ジャーナリスト研修「ヒロシマ講座」における情報発信

国内の若手ジャーナリストを対象に核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に向けた世論の醸成を図るために毎年実施している「ヒロシマ講座」において、ピースツーリズムについて講義を行うとともに、「ぴーすくる」を活用して、参加者が実際に施設を巡る体験を実施した。

参加者からは、「証言者の被爆体験を聞くのと合わせて、街の中に残る被爆建物や被爆樹木など被爆の痕跡を実際に巡ることで、より被爆の実相が伝わってくると感じた。」などの声が寄せられた。

開催日：令和6年8月1日

会場：広島国際会議場（講義）

見学場所：本川小学校平和資料館、相生橋、HIROSHIMA GATE PARK、被爆樹木、中国軍管区司令部跡、袋町小学校平和資料館 等

参加者：10名



(本川小学校平和資料館)



(袋町小学校平和資料館)

ピースツーリズムに関する記事を掲載

⇒ 8月2日 下野新聞「SOON」ニュース

(<https://www.shimotsuke.co.jp/articles/-/936837>)

令和6年6月

④ 海外の大学生への情報発信 (新)

和歌山大学観光学部からの依頼を受け、同大学が連携しているアメリカ・カリフォルニア州の College of the Desert の学生・教職員が研修のため来広した際、プログラムの一環で「広島市の観光の取組」として広島ピースツーリズムについての講演を行った。併せて、被爆体験記朗読会を開催し、参加者にも朗読体験してもらうことで、平和への思いの共有に繋がった。

ピースツーリズムについての講演後、参加者からは「広島に来てみて、とても美しい街だと思った。被爆後どのように復興したのか」などの質問が寄せられた。また、朗読会についても、「朗読が素晴らしく、参加者も朗読する機会があったことで、より理解が深まった。」との感想が聞かれた。

開催日：令和6年6月1日

会場：国立原爆死没者追悼平和祈念館

参加者：18名（デザート大学学生12名、教員2名、和歌山大学観光学部学生4名）



(ピースツーリズムについての説明)



(被爆体験記朗読会の様子)

(2) 市民・民間との協働体制の構築

令和6年8月～11月

①「ピースおこ」プロジェクトとの連携

お好み焼に平和へのメッセージを描き、世界に届ける取組で今回が10回目

開催期間：令和6年8月1日～8月15日

主催：一般財団法人お好み焼アカデミー

参加方法：① 参加店舗にて、注文したお好み焼にマヨネーズ等で「ピースおこ」を描き、ハッシュタグ「#peaceoko」を付けてSNSに投稿。

② 参加店舗にて、メッセージカードに平和への思いを描く



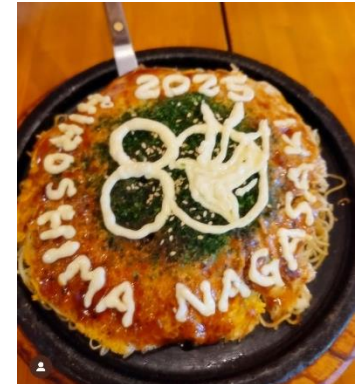
「ピースおこ」の写真とあわせて
11月3日（日）市民平和文化イベントで展示



10th 世界へ届け!
ピースおこ



広島ピースツーリズム
インスタグラム



令和6年8月2日投稿
472件の「いいね！」を
獲得（9月3日時点）

②広島市内の大学（比治山大学）との連携（新）

令和6年4月～7月

比治山大学現代文化学部マスコミュニケーション学科の「世界遺産の観光学Ⅱ（平和遺産）」を受講する学生が、児玉勝司教授の指導の下、平和関連施設や被爆の実相について学習した後、フィールドワークにより平和関連施設等を見学し、エディオンピースウイング広島やG7広島サミット記念館など、新たなピーススポットを巡る学生ならではのルートを作成。

学生が作成したルートについては、今後、広島ピースツーリズムのウェブサイトで紹介する予定。



（フィールドワークについての説明）



（G7広島サミット記念館）



（リバークルーズ）



（エディオンピースウイング広島）

(3) 被爆80周年記念事業

令和6年4月～9月

① 情報発信の強化

令和7年に被爆80周年を迎えるに当たり、市内の平和関連施設等への周遊を促し、80年前の被爆の実相に触れるとともに、これまでの復興に向けた市民の歩みを知ること、平和への思いを共有するとともに、ピースツーリズムの認知度向上と平和関連施設等への周遊促進を図る。

■リーフレットの更新（日本語版）

被爆80周年に向けて、ピースツーリズムの周遊ルート等を紹介するリーフレット（日本語版）を更新し、増刷した。（10,000部）

※ 更新したリーフレットは、市内ホテル等の他、大都市圏の観光案内所や空港、駅等への配架も想定。



■PR動画の活用

昨年度作成した、G7広島サミットで各国首脳や配偶者が訪れた施設を含む市内の平和関連施設等を題材としたピースツーリズムPR動画を活用し、デジタルサイネージ等で情報発信。



令和6年8月～

② 「広島・長崎連携観光キャンペーン事業」との連携

令和7年に、広島市と長崎市が被爆80周年を迎えるとともに姉妹友好都市50周年を迎えることから、外国人旅行者等誘致推進と両市間の更なる友好促進による地域経済の発展を図るため、両市が共同して、平和文化の発信をはじめとするプロモーションや平和学習を取り入れた新たな観光プログラムの造成等の連携に取り組んでいる。

このため、同事業と連携し、ピースツーリズムについての情報発信や周遊促進を行った。

■ 平和記念資料館来館者へのPR

広島平和記念資料館及び長崎原爆資料館への来館者を対象に、資料館内において、相互に各市への訪問を促す宣伝物として、パネル等の展示や被爆80周年に関連するノベルティの配布を行う。

展示期間：令和6年8月1日（木）から令和7年3月31日（月）※ 令和7年度以降は未定

展示場所：広島平和記念資料館内、長崎原爆資料館

ノベルティ：（広島市）広島市平和記念公園レストハウス、袋町小学校平和資料館、

配布場所 本川小学校平和資料館



（平和記念資料館でのパネル等の展示）



（本川小学校平和資料館でのノベルティの配布）

(1) 情報発信の強化

- ① WEBサイト等による、モデルルート、スポット等の情報発信
- ② SNS参加型キャンペーン「あなたのピースなフォトコンテスト」の実施
- ③ インターネット広告

(2) 来訪者と市民が平和の思いを共有するための取組 体験型周遊イベント等の実施（P13）

- ・ 周遊イベント等を通して平和の思いを共有
- ・ 各種団体等のネットワーク構築

(3) 被爆80周年記念事業（P14）

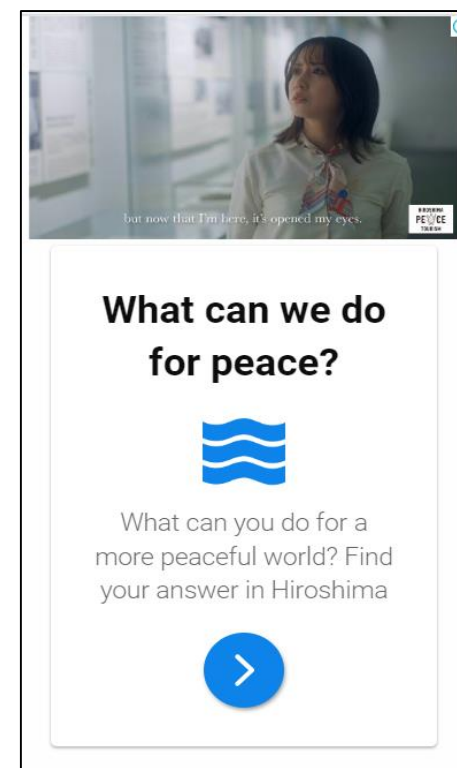
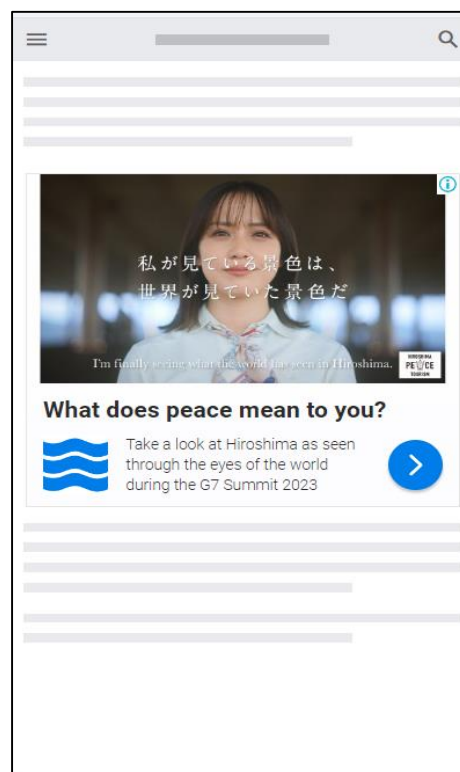
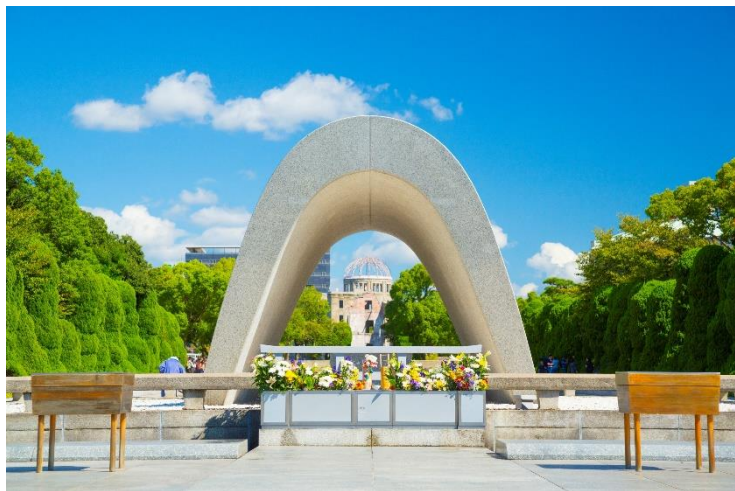
- ① 情報発信の強化（リーフレットの更新（英語版））
- ② 「広島・長崎連携観光キャンペーン事業」との連携 (新)
 - ・ S N S等を活用した情報発信
 - ・ 平和首長会議加盟都市の姉妹友好都市を通じたP R
 - ・ 資料館来館者へのP R

(1) 情報発信の強化

令和6年10月～

- ① WEBサイト等による、モデルルート、スポット等の情報発信
- ② SNS参加型キャンペーン「あなたのピースなフォトコンテスト」の実施
- ③ インターネット広告

広島ピースツーリズムの認知度を向上させるため、インターネットを活用した広告を実施し、広く広報を行うことで、ウェブサイトのアクセス数を向上させ、来広者の平和関連施設の周遊促進を図る。



(広告イメージ)

(2) 来訪者と市民が平和の思いを共有するための取組

ピースツーリズム体験型周遊イベント等：ピースパズル

令和6年11月開催予定

昨年度に引き続き、市内の平和関連施設等を巡り平和を考える体験型周遊イベント等を開催し、ピースツーリズムの情報発信の強化を図るとともに、参加者自らが平和とは何かを考え、平和への思いを共有できる環境づくりを行う。

体験型周遊イベント等は、平和をテーマとして活動している各種団体等と積極的に連携し、来訪者に満足度の高い周遊コンテンツを提供するとともに、同取組を契機に、各種団体等のネットワーク構築が促進され、来訪者と市民が平和への思いを共有するピースツーリズムの機運が高まることを目指す。

ピースパズル：平和学習デジタルスタンプラリーを活用した体験型周遊イベント

- 開催期間：令和6年11月（平和文化月間）
- 開催場所：広島平和記念公園、広島市内の平和関連施設等
- ターゲット層：10代～20代、平和学習に関心がある若い世代



(左：ピースパズルの
イメージ画像)

令和6年10月～

(3) 被爆80周年記念事業

① 情報発信の強化

■リーフレットの更新（英語版）

被爆80周年に向けて、ピースツーリズムの周遊ルート等を紹介するリーフレット（英語版）を日本語版にあわせて更新し、増刷を行う。（10,000部）



② 「広島・長崎連携観光キャンペーン事業」との連携 **（新）**

■ 広島市・長崎市共同による国外への観光プロモーション

・ SNS等を活用した情報発信

平和へのメッセージや両市の平和関連施設、被爆80周年等を題材動画（多言語字幕）を制作し、SNS等を活用して国外に向けた情報発信に取り組む同事業と連携し、ピースツーリズムについての情報発信を行う。

・ 平和首長会議加盟都市の姉妹友好都市を通じたPR

国内の平和首長会議加盟都市を通じ、各都市の国外の姉妹友好都市に対して、被爆80周年や両市の平和関連施設等の認知拡大と両市への訪問促進に資するPRを行う同事業と連携し、ピースツーリズムについての情報発信を行う。



■ 資料館来館者へのPR

今年度の取組に対する 質疑応答

3 その他平和に関わる本市の事業についての 情報共有

(1) 「G 7 広島サミットを振り返るとともに被爆の実相を学べるルートマップ」
の作成について

参考資料1

(2) 平和記念資料館の混雑対策に係る追加の取組について

参考資料2

(3) 国内の自治体等へのVRゴーグルの貸出し

参考資料3

令和5年度第2回ピースツーリズム推進懇談会での意見

項目	意見	取組（予定を含む）
情報発信	・SNS等オンライン上での英語による情報発信 ・市民・民間事業者との連携 ・国内外のインフルエンサー等に向けたツアーの実施等 ・エアライン（飛行機内）でのPR	・日本語及び英語でのSNS投稿 ・エディオンピースウイング広島と連携した情報発信 ・各種メディア（雑誌、SNS等）を活用した情報発信
コンテンツの充実	・フォトコンテストのポスター作製 ・長崎市との連携	・フォトコンテスト受賞作品でのポスター作製 ・「広島・長崎連携観光キャンペーン事業」との連携
環境整備	・拠点施設の設置 ・ルートの再検討（新規スポットの活用） ・平和記念資料館の混雑緩和	・体験型周遊イベント等を通して、来訪者との接点の場の創設を図る ・市内の大学生が作成したルートをHPへ掲載 ・WEBを活用したチケット購入・予約システムの導入自動券売機の導入、見学ショートカットコースの設定の試行的実施